料金改定の概要についてくお客さまご説明会>

北陸電力株式会社

本日のご説明内容

1. 値上げの背景、弊社の取り組み

- (1) 弊社を取り巻く環境
- (2)値上げの背景
- (3)効率化の取組み

2. 規制料金値上げの概要

- (1)申請原価の概要
- (2)影響額について
- (3) ご契約条件の一部変更について
- (4) 規制料金改定手続きの概要

3. 自由料金値上げの概要

- (1)値上げの概要
- (2) 影響額について

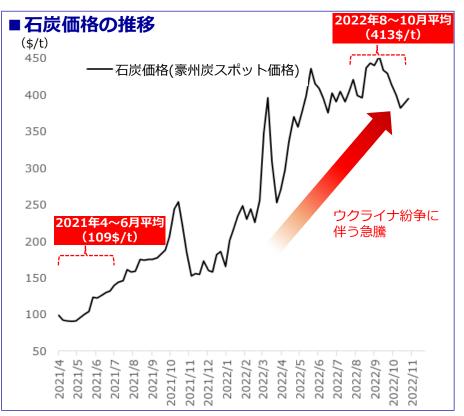
4. 料金値上げの概要(共通)

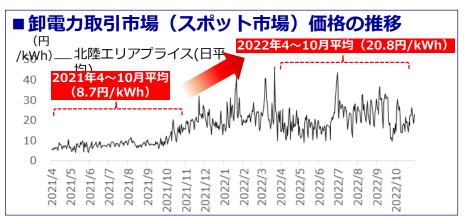
- (1)燃料費調整制度
- (2) 託送料金の見直し
- (3)国による「電気・ガス激変緩和対策事業」
- 5. 省エネ方法のご紹介
- 6. 省エネ・節電促進支援について



1. 値上げの背景、弊社の取り組み

- (1) 弊社を取り巻く環境(燃料価格と卸電力取引市場価格の高騰)
- ・近年の世界的な資源価格高騰に加え、ウクライナ紛争により、燃料価格が著しく急騰しております。また、国内外の金利差を背景とした円安も加速しております。
- ・こうしたことを背景に、燃料費および卸電力取引市場からの電力調達コスト が大幅に増加している状況となっております。



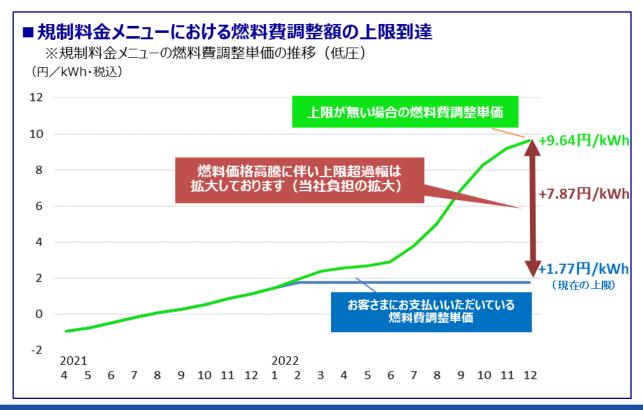




1.値上げの背景、弊社の取り組み

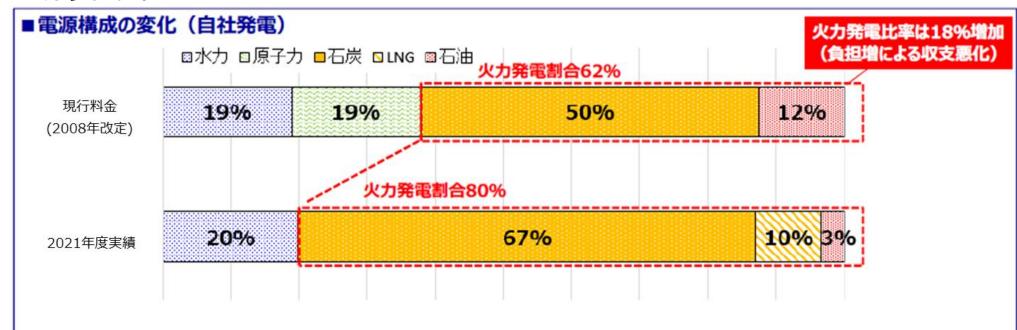
(2)値上げの背景(規制料金における燃料費調整額の上限到達)

- ・燃料費の増加に対しましては、燃料費調整制度に基づき、燃料価格の変動を毎月自動的に電気料金に反映するしくみとなっています。
- ・しかしながら規制料金メニューにつきましては、2022年2月分の燃料費調整 単価から上限(基準燃料価格の1.5倍)に到達しているため、コスト増分 を電気料金に反映できない状況が継続しております。



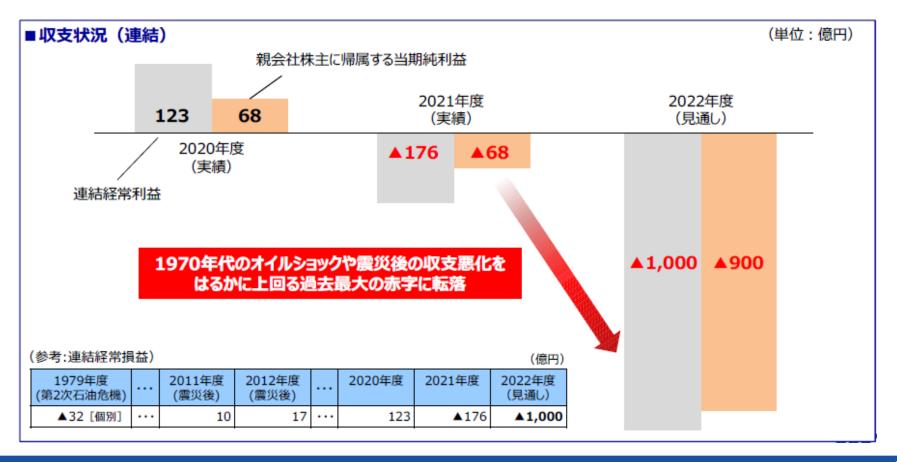
1. 値上げの背景、弊社の取り組み(2) 値上げの背景(電源構成の変化)

- ・現行料金は、志賀原子力発電所の稼働が折り込まれた電源構成と なっております。
- ・しかしながら東日本大震災以降,志賀原子力発電所は停止しており,石 炭をはじめとする火力発電で賄っている状況にあるため,電源構成の変化による燃料費増分が圧迫しております。
- ・加えて、昨今の燃料価格の著しい急騰により、弊社の負担は更に拡大して おります。



1.値上げの背景、弊社の取り組み (2) 値上げの背景(2022年度収支想定)

・東日本大震災以降、全社を挙げて徹底した経営効率化に取り組んでおりますが、もはや企業努力で対処可能な状況ではなく、2022年度の連結経常利益は1,000億円の損失と、1970年代のオイルショックや震災直後の収支悪化をはるかに上回る過去最大の赤字となる見込みです。



1.値上げの背景、弊社の取り組み

(3) 効率化の取組み(これまでの効率化取組みと更なる効率化)

今回の値上申請にあたっては、震災後、これまで取り組んできた効率化366億円に加え、AI技術を活用した最適な設備・需給運用等をはじめとする、更なる効率化132億円を反映し、総額497億円の経営効率化を織り込んでおります。

■経営効率化の取り組み

(億円)

	現行原価 (2008改定)	
•		これまで 取り組んできた 効率化* (366億円)
,	2021年度実績	
,	今回申請原価 に織り込み (2023-2025平均)	更なる 効率化 (132億円) 3か年平均

366億円)の各施策も反映し算定しております。

	科目	主な内容	金額
	人件費	・役員報酬、給与手当の削減・厚生費の削減等	38
これまで	需給関連	・経済性に優れた電源(水力・LNG火力)活用 ・卸電力取引所を活用した販売拡大 等	203
取り組んで きた 効率化	設備投資 修繕費	・競争入札等による資材調達価格の低減 ・設備維持費用全般の削減	65
<i>X</i>)- 1 -10	その他経費	・競争入札等による資材調達価格の低減 ・販売活動費や研究開発費等の諸経費全般の削減	59
	小計		366
	人件費	・役員報酬、給与手当の削減 ・人員の削減 等	23
五+\フ	需給関連	・AI技術を活用した最適な設備・需給運用 ・燃料調達コストの更なる低減 等	47
更なる 効率化	設備投資 修繕費	・上流購買の推進による更なる資材調達価格の低減 ・新技術の導入による工法等の見直し	35
	その他経費	・上流購買の推進による更なる資材調達価格の低減 ・緊急経営対策本部の取組みによるベース諸経費の更なる削減	26
	小計		132
合計			497

1.お客さまへのお願い

- ・来年度以降も、このような状況が継続した場合、燃料の 安定的な調達や設備保全に係る対応が困難となり、安定 供給に万全を期すことに影響を及ぼす虞があります。
- ・お客さまにご負担をお願いすることになり、誠に申し訳 ございません 何卒、ご理解を賜りますようお願い申し上 げます。

(1) 申請原価の概要

- 今回の認可申請は、一般家庭および小規模な工場・商店等のお客さまの電気料金のうち、従量電灯や 低圧電力等の規制料金を対象としております。
 - ※ ご家庭のお客さま全体(約115万件)のうち、規制料金の対象は約55万件となります。

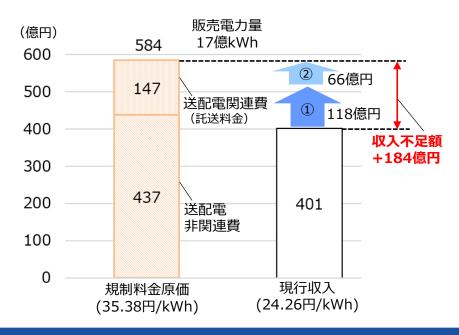
■今回申請の対象となる電気料金メニュー

規制料金メニュー ・従量電灯 ・定額電灯 ・臨時電灯 ・公衆街路灯 ・低圧電力 ・臨時電力 ・農事用電力

(1) 申請原価の概要

- 申請原価5,737億円のうち、規制部門の原価は584億円となり、一方、現行の料金を維持した場合の収入 見込み(現行収入)は401億円であることから、収入不足額は184億円となります。
- このため、規制料金のお客さまにはご負担をおかけすることとなり、誠に心苦しい限りですが、2023年4月1日 から、平均11.12円/kWh(45.84%)の改定をお願いさせていただく次第です。
- なお、平均改定幅11.12円/kWhのうち、大宗を占める①燃料費調整額の上限超過分7.15円/kWh(29.47%)につきましては、本年2月以降、燃料費調整額が上限に到達したことにより、超過分をこれまで当社が負担してまいりましたが、今回の料金改定により、規制料金のお客さまにつきましても、自由料金のお客さま同様、ご負担をお願いさせていただくものです。

■規制料金原価と現行収入(2023-2025年度平均)



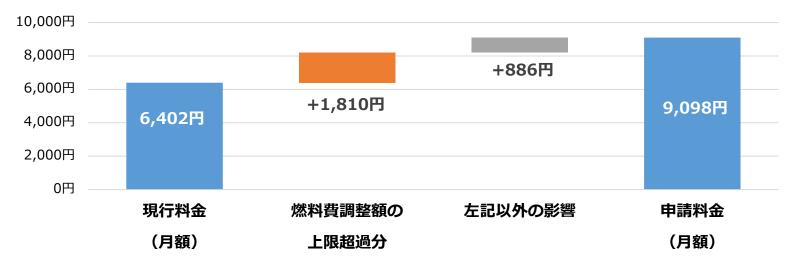
■規制料金原価·平均改定幅

内訳	改定単価	改定率
①燃料費調整額の上限超過分	7.15円/kWh	29.47%
②上記以外の影響 (電源構成の変動影響等)	3.97円/kWh	16.37%
計 (①+②)	11.12円/kWh	45.84%

(2) 影響額について

規制料金における主なご契約メニューの改定影響額は以下のとおりです。

	1か月の	現行料金	申請料金	改定額(月額)〔改定率〕		[率]
	ご使用量	(月額)	(月額)	合計	燃料費調整額の 上限超過分	左記以外の影響
従量電灯B 30アンペア	230kWh	6,402円	9,098円	+2,696円 〔+42%〕	+1,810円 〔+28%〕	+886円 〔+14%〕



[※]現行料金、申請料金ともに「消費税等相当額」および「再生可能エネルギー発電促進賦課金(申請日時点の単価:3.45円/kWh)」を含みます。

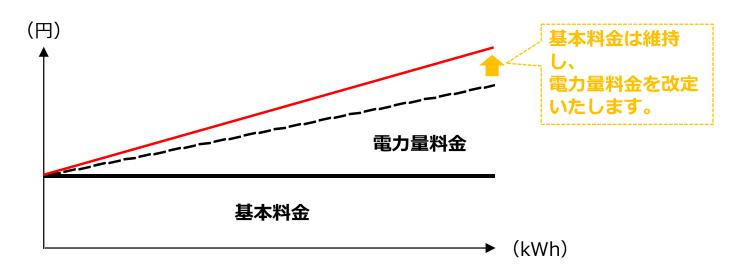
[※]現行料金には2022年7~9月の平均燃料価格による燃料費調整額を含みます。また、従量電灯Bの現行料金には「初回振替割引額」を含みます。

^{※2023}年4月1日から予定されている低圧託送料金の見直し相当分は含まずに算定しております。

[※]今後の国の審査等を踏まえ、上記の改定影響額が変動する場合がございます。また、上記はモデルケースに基づき算定した目安の金額であり、実際のご負担額は、ご使用状況や燃料費調整額、再生可能エネルギー発電促進賦課金等により変動する場合がございます。

(2) 影響額について(基本料金と電力量料金)

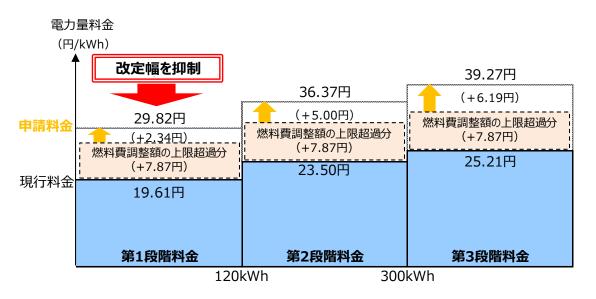
- ・ 従量電灯B・Cや低圧電力に採用されている基本料金制(二部料金制)は、契約電力(kW)等に比例する固定的な基本料金と、使用電力量(kWh)に比例する電力量料金の2要素で構成されます。
- 今回の料金改定にあたりましては、基本料金は維持したうえで、電力量料金を改定する内容としております。
- 多様な電気機器や太陽光発電の普及により、夏季需要の先鋭化が弱まっていることを踏まえ、 季節別の電力量料金単価を同一の料金単価に見直しいたします。
- ※なお、2023年4月1日から、託送料金の見直しが予定されており、その見直し相当額については、基本料金および電力量料金に別途反映させていただきます。



(2) 影響額について(3段階料金制)

- ご家庭などで多くご契約をいただいている従量電灯においては、3段階料金制を採用しております。
- 今回の料金改定にあたりましては、毎日の生活に必要不可欠なご使用量に相当する第1段階料金の 改定幅を小さく、節電・省エネ推進の観点から、第3段階料金については改定幅を大きくしております。

■3段階料金制(従量電灯Bのイメージ)



単位 (円/kWh)	現行料金	改定 燃料費調整額 の上限超過分	左記以外の	申請料金
第1段階 料金	19.61	(+7.87)	(+2.34)	29.82
第2段階 料金	23.50	(+7.87)	(+5.00)	36.37
第3段階 料金	25.21	(+7.87)	(+6.19)	39.27

- ※()内は、現行料金から申請料金への改定幅を示しています。
- ※現行料金、申請料金ともに消費税等相当額を含みます。
- ※現行料金には、2022年7~9月の平均燃料価格による燃料費調整単価を含みます。
- ※2023年4月1日から予定されている低圧託送料金単価の見直し相当分は含んでおりません。



(3) ご契約条件の一部変更について

- 環境負荷の低減(ペーパーレス化推進)や支払手段の多様化、法令変更等を踏まえた今日的な内容に改めること等を目的に、今回の料金改定にあわせ、ご契約条件を変更いたします。
- なお、ご契約条件の変更は2023年4月を予定しておりますが、お客さまへの周知期間を十分に確保する ため、一部の内容は、2024年4月から実施いたします。
- また、ご契約条件の変更内容は、当社ホームページや文書の郵送等により別途お知らせいたします。

■ご契約条件の主な変更内容

	変更概要	実施時期
1	再生可能エネルギー発電促進賦課金単価および燃料費調整単価について、当社事務所に掲示しておりましたが、 インターネット上※でお知らせいたします。	2023年 4月
2	契約期間を年度単位(4/1~3/31)に変更する等、今日的な見直しを行います。	4月
3	口座振替で電気料金をお支払いいただいているお客さまで、初回の振替日に電気料金が引き落としされた場合に 適用している特別措置(初回振替割引 税込55円)を終了いたします。 〔対象契約は、「従量電灯B」、「従量電灯C」が該当〕	
4	低圧電力等の動力需要において、力率に応じて適用している力率割引・割増しを廃止いたします。 〔対象契約は、「低圧電力」、「臨時電力」、「農事用電力」が該当〕	2024年
5	電気料金・使用電力量のお知らせ方法として、これまで書面によりお知らせしておりましたが、原則、電子メールの送信またはインターネット上でお知らせいたします。 書面による電気料金等のお知らせをご希望された場合、その発行に伴う費用に相当する金額を申し受けます。 〔発行手数料〕 ・電気料金の支払いにかかる「契約振込票」 : 1 通あたり 税込220円 ・電気料金・使用電力量のお知らせにかかる「電気ご使用量等のお知らせ」 : 1 通あたり 税込110円	4月

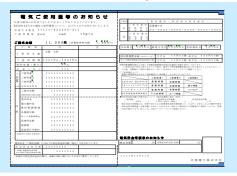
(3) ご契約条件の一部変更について (電気料金等のお知らせ方法の見直し)

毎月の電気料金や使用電力量のお知らせにかかる「電気ご使用量等のお知らせ」について、書面やインターネット上でお知らせしておりますが、環境負荷の低減(ペーパーレス化推進)を目的として、2024年4月以降は書面からインターネット上でご確認いただく方法へ見直しいたします。

【2024年3月まで】

【2024年4月以降】

■ 現在、書面(ハガキ・振込票)でご確認いただいているお客さま



■ 現在、インターネット上でご確認いただいているお客さま





ほくリンクアプリで確認 ほくリンクサイトで確認

くリンクサイトで確認 メール等

書面からインターネット上でご確認いただく 方法に見直しいたします。





現在、インターネット上でご確認いただいている お客さまはお知らせ方法に変更ございません。

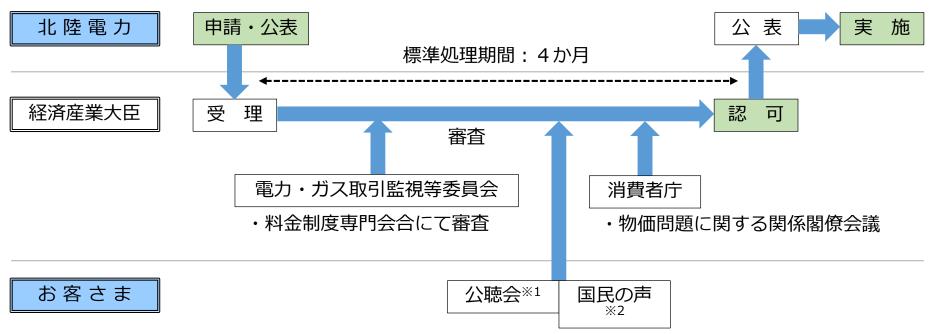
※毎月、料金確定時に メール等で通知いたします

- ・この機会に「電気ご使用量のお知らせ通知サービス」等、便利でお得な ほくリンク会員 へのご登録をおすすめします。
- ・ほくリンクへの登録・操作方法についてご不明な点がありましたら、当社事業所窓口にてご説明させていただきます。
- ・2024年4月以降、書面による「電気ご使用量等のお知らせ」をご希望される場合は、1通あたり 税込110円 を申し受けます。

(4)規制料金改定手続きの概要

- 規制料金改定の申請後は、平成26年改正電気事業法附則第18条に基づく経済産業大臣の審査や、 公聴会※1、関係閣僚会議等を経て認可を受けることとなります。
- 上記に加えて、料金制度専門会合での審査や、消費者庁によるヒアリング等が行われます。

■規制料金の認可プロセス



- ※1 公聴会 : 平成26年改正電気事業法附則第22条に基づき、広くお客さまからご意見を伺うことを目的に開催
- ※2 国民の声:広くお客さまからご意見を伺うことを目的に、電子政府の総合窓口(e-Gov)・経済産業省ホームページ等で意見を募集

【出典】「電気料金制度・運用の見直しに係る有識者会議報告書」(平成24年3月)等を踏まえ作成

(1) 値上げの概要

• 今回、見直しを実施する自由料金メニューは、「オール電化住宅や小規模な工場・商店等の低圧お客さま」 および「高圧・特別高圧お客さま」が対象となります。

■見直しの対象

低	高圧・特別高圧	
規制料金 自由		料金
ご家庭のお客さま:約55万件	ご家庭のお客さま:約60万件	‡

見直し対象のご契約メニュー

- ① 以下の低圧自由料金メニュー
 - ・従量電灯ネクスト 使っておとくライト
 - ・節電とくとく電灯
- ・高負荷率電灯

- ・くつろぎナイト12
- Tルフナイト8※1

- ・Tルフナイト10^{※1}
- ・Tルフナイト10プラス※1

- ·深夜電力(A·B·C·D) *1
- ・低圧電力ネクスト・低圧電力 II

- •低圧季節別時間帯別電力
- ・ホワイトプラン電力 (I・II・II・IV) 〔24時間通電型〕※2 ・ホワイトプラン電力 (I・II・III・IV) ※1
- 高圧・特別高圧のすべての料金メニュー
- ※1 新規のご加入受付を既に終了しております。
- ※2 ホワイトプラン電力(Ⅰ・Ⅱ)〔24時間通電型〕は、2023年3月31日申込受付分をもちまして、新規のご加入受付を終了させ ていただきます。

(2) 影響額について(基本料金と電力量料金)

① 基本料金

• 低圧自由料金については、規制料金と同様に、主にご家庭向けの料金であることを踏まえ、 ご使用量の少ないお客さまへのご負担を考慮し、基本料金を維持いたします。

② 電力量料金

- 燃料費および卸電力取引市場からの電力調達コストが大幅に増加していることを踏まえ、 料金を引き上げさせていただきます。
- 多様な電気機器や太陽光発電の普及により、夏季需要の先鋭化が弱まっていることを踏ま え、季節別の電力量料金単価を同一の料金単価に見直しいたします。
- ※なお、2023年4月1日から、託送料金の見直しが予定されており、その見直し相当額については、基本料金および電力量料金に別途反映させていただきます。



(2) 影響額について(主なメニューの料金単価)

■従量電灯ネクスト

(1)//) 10/// 1///			-0/11 1/12 11	
		現行料金	改定料金	改定幅
基本 料金	10A〜60A の場合	242.00	242.00	_
	120kWh まで	27.48	29.82	2.34
電力量 料金	121kWh ~300kWh	31.37	36.37	5.00
	300kWh 超過	33.08	39.27	6.19

(円/月・10A、円/kWh) ■使っておとくライト

(円/月、円/kVA、円/kWh)

		現行料金	改定料金	改定幅
基本使用料金	3kVAまで 使用量 120kWh 分を含む	2,698.68	4,090.00	1,391.32
	3kVA超過	242.00	242.00	_
電力量 料金	120kWh 超過	31.06	35.30	4.24

■くつろぎナイト12

		現行料金	改定料金	改定幅
基本	10kVAまで	1,650.00	1,650.00	_
料金	10kVA超過	242.00	242.00	_
	昼間 (夏季)	44.58	39.58	▲ 5.00
電力量	昼間 (その他季)	34.70	39.58	4.88
料金	ウィークエンド	29.27	33.14	3.87
	夜間	22.14	26.15	4.01

[※]現行料金、改定料金ともに消費税等相当額を含みます。

(円/月、円/kVA、円/kWh) ■エルフナイト10プラス

(円/月、円/kVA、円/kWh)

【新規受	於付終了済]	現行料金	改定料金	改定幅
基本料金	6kVAまで	1,210.00	1,210.00	_
	7∼10kVA	1,650.00	1,650.00	_
	10kVA超過	242.00	242.00	_
電力量料金	昼間 (夏季)	42.71	41.72	▲0.99
	昼間 (その他季)	39.68	41.72	2.04
	朝夕	31.84	35.67	3.83
	夜間	21.71	25.72	4.01

【注】エルフ割引プランの割引率もあわせて変更いたします。

[※]現行料金の電力量料金には、2022年7月~9月の平均燃料価格による燃料費調整単価を 含みます。

^{※2023}年4月1日から予定されている託送料金単価の見直し相当分は含んでおりません。

(2) 影響額について

• 自由料金における主なご契約メニューの改定影響額は以下のとおりです。

	1 か月の ご使用量	現行料金 (月額)	見直し後料金 (月額)	影響額 (月額) 〔見直し影響〕
従量電灯ネクスト 30アンペア	350kWh	12,531円	14,021円	+1,490円 〔+12%〕
使っておとくライト 5キロボルトアンペア	550kWh	19,592円	21,650円	+2,058円 〔+11%〕
くつろぎナイト12 10キロボルトアンペア	750kWh	24,282円	27,064円	+2,782円 〔+11%〕
エルフナイト10プラス 10キロボルトアンペア 【新規受付終了済】	750kWh	24,035円	26,710円	+2,675円 〔+11%〕

[※]現行料金、見直し後料金ともに「消費税等相当額」および「再生可能エネルギー発電促進賦課金(公表日時点の単価:3.45円/kWh)」を含みます。 また、基本料金は「力率割引額」を含み、電力量料金は「夏季」を30%、「その他季」を70%として算定しております。

[※]現行料金には、2022年7月~9月の平均燃料価格による燃料費調整額を含みます。

^{※2023}年4月1日から予定されている託送料金の見直し相当分は含まずに算定しております。

[※]上記はモデルケースにもとづき算定した目安の金額であり、実際のご負担額は、ご使用状況や燃料費等調整額、再生可能エネルギー発電促進賦課金等により変動 する場合がございます。

(2) 影響額について(オール電化住宅における他熱源とのコスト比較)

オール電化住宅における他熱源とのコスト比較

・電化メニューの料金改定をお願いさせていただくことといたしましたが、以下の条件において、電化メニューは電気と他熱源を併用した場合に比べて光熱費がお安くなります。(光熱費は機器の種類やお客さまのご使用方法等によって異なります。)

■ 1か月あたりの光熱費



- ■くつろぎナイト12 (契約容量10kVA)
- ・月平均電気使用量: 750kWh (夏季37kWh その他季142kWh ウィークエンド116kWh 夜間455kWh)
- ・使用機器(月平均使用量): エコキュート(150kWh) IHクッキングヒーター(50kWh)
- ■エルフナイト10プラス (契約容量10kVA)
- ・月平均電気使用量: 750kWh (夏季26kWh その他季81kWh 朝夕261kWh 夜間382kWh)
- ・使用機器(月平均使用量): エコキュート(150kWh) IHクッキングヒーター(50kWh)
- ■従量電灯B(契約電流50A)+ 他熱源
- ·月平均電気使用量:550kWh
- ・使用機器(月平均使用量):石油給湯器(42.1ℓ) ガスコンロ(プロパンガス3.0㎡)

[共通諸元]

- ●各料金には、消費税等相当額を含みます。
- ●電気料金:「再生可能エネルギー発電促進賦課金(2022年5月~2023年4月の単価:3.45円/kWh)」を含めて算定
- ●灯油料金:2022年2月~7月まで6か月間の北陸3県の平均価格(石油情報センター調べ、配達価格120円/ℓ)で算定
- ●プロパンガス料金:2022年7月時点の北陸3県22社の料金で算定した平均値
- ●電気機器の使用量: [エコキュート]電気温水器5.4kW(460ℓ)マイコン型の平均使用量を基にJIS3.0で算定 [IHクッキングヒーター]3口の平均的使用量で算定
- ●灯油およびプロパンガスの使用量:各熱源の発熱量とエネルギー消費効率で電気使用量を熱量換算して算定
- ●エネルギー消費効率: [給湯]エコキュート300%(JIS3.0)、石油給湯機(潜熱回収型)95%(メーカーカタログ)で算定 [調理]IHクッキングヒーター90%、ガスコンロ57%(メーカーカタログ)で算定
- ●上記の1か月あたりの光熱費に機器購入費および工事費は含んでおりません。



4. 料金値上げの概要(共通)

(1) 燃料費調整制度

- ・燃料費調整制度は、原油・LNG・石炭の貿易統計価格により毎月算定された平均 燃料価格と基準燃料価格の差に基づき、毎月の電気料金を通じて調整(平均燃料 価格が基準燃料価格を上回る場合はプラス調整(電気料金へ増額)、下回る場合 はマイナス調整(電気料金から減額))する制度となります。
- 今回の料金改定では、電源構成や燃料価格の見直しにあわせ、燃料費調整の前提 諸元を見直しいたします。なお、基準単価は、平均燃料価格が1,000円/kl変動した 場合の1kWhあたりの調整単価となります。
 - ※規制料金メニューにつきましては、引き続き、燃料費調整単価の算定に用いる平均 燃料価格に上限を設け、上限を超える調整は行いません。 自由料金メニューにつきましては、上限はありません。

■燃料費調整の前提諸元

		今回	現行	
基準燃料価格(円/kℓ)		79,300	21,900	
	原油	(a) 0.0380	(a)0.2303	
換算係数	LNG	(β) 0.0702	-	
	石炭	(γ) 1.2641	(β)1.1441	
低圧 基準単価(円/kWh·税込)		0.186	0.161	

4. 料金値上げの概要(共通)

(2) 託送料金の見直し

- ・今後、一般送配電事業者各社は、託送供給等約款の申請を行い、経済産業大臣 の認可を受けることが予定されております。
- ・当社としては、北陸電力送配電株式会社の認可後の新託送料金を、小売電気料 金(基本料金および電力量料金)に別途反映させていただく予定としておりま す。

■託送料金の見直しによる1kWhあたりの影響単価(見通し)

低圧 + 1 円 24銭 *

北陸電力送配電株式会社が公表(2022年12月8日)した一般送配電事業託送供給等約款算 定規則に則った参考値です。なお、上記参考値は、消費税等相当額を含みます。



4. 料金値上げの概要(共通)

(3) 国による「電気・ガス激変緩和対策事業」

- 国による新たな総合経済対策として、「電気・ガス価格激変緩和対策事業」が決定されました。お客さまのご負担軽減を直接的に実現するため、低圧のお客さまにつきましては、「1kWhあたり7円の値引きを行う措置」が実施されます。
 - ■低圧のお客さま1kWhあたりの値引き単価(税込)

低圧 ▲ 7 円 00銭

• 国による本措置は、2023年2月分料金(1月検針日から2月検針日前日ご使用分)から実施されるものであり、2023年10月分料金で措置の縮小(半減)が予定されております。 (2023年11月分以降につきましては、未定)



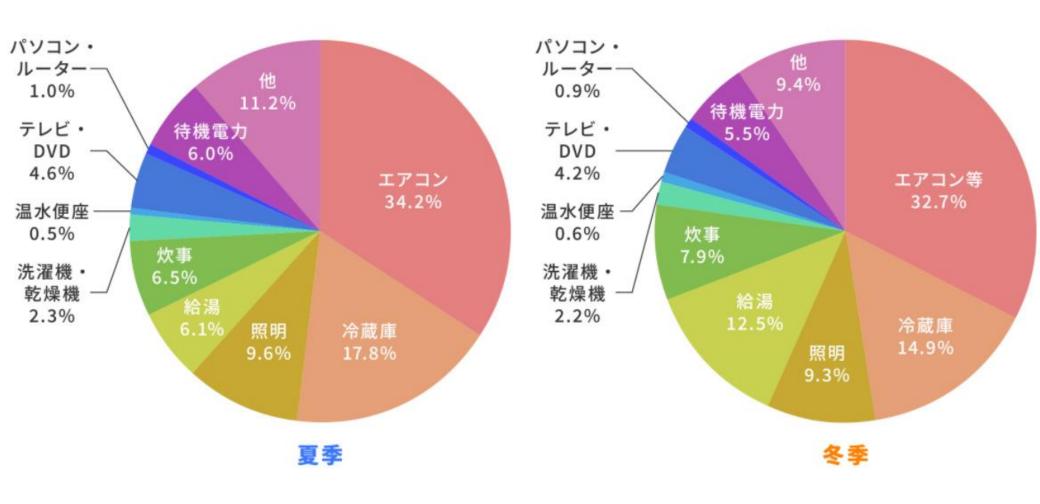
5. 省エネ方法のご紹介



毎日使う家電製品だから、ちょっとしたコツや 使い方の改善で大きな省エネにつながります。 また省エネ性能が向上した最新機器への買い替えも有効です。 楽しくおトクな省エネ生活、みんなではじめてみませんか。

5. 省エネ方法のご紹介

家庭における家電製品の一日での電力消費割合



【出典】平成30 年度電力需給対策広報調査事業の結果より作成

5. 省エネ方法のご紹介

エアコン

- ●フィルターのこまめなお掃除で省エネ効率アップ。
- ●扇風機やサーキュレーターの併用で空気を循環させると冷暖房効果が高まります。



◎1℃の調整で約10%の省エネ効果が見込まれます!

冷蔵庫

- ●季節に応じて設定温度を変更するなど、庫内の温度を適切に。
- ●冷蔵庫の中を整理して、食品を詰め込みすぎないことで冷却効果が高まります。



◎冷蔵庫の開閉回数を50回から25回、冷凍庫の開閉回数を16回から8回に減らすことで 約6%の省エネ効果が見込まれます!

照明

●蛍光灯や白熱電球からLED電球に取り換えると省エネ効果があります。



◎こまめな清掃で明るさを保つことも効果的です!

温水洗浄便座

●使わないときはフタを閉めましょう。



◎1日にトイレを利用する時間はわずかですが、温水洗浄便座は、いつでも使えるように 便座や洗浄水を温め続けています。節電タイマーや節電モードを活用しましょう!///

6. 省エネ・節電促進支援について

• 今般の電気料金改定を機に、お客さまの節電・省エネの促進に繋がる取組みを実施しております。

実施内容		<特典1応募締切>	対象	
お客さまの節電の促進支援		「みんなde節電チャレンジキャンペーン2022冬」の特典拡大 〈国からの特典〉 特典1 本キャンペーンへの参加登録で全員に2,000円相当進呈	2022年12月31日 【締切間近】 お早めにお申込下さい	2023.1月分 〜3月分の 電気使用分
	D	特典2 節電成功(前年同月▲3%以上)で各月、全員に1,000F <当社からの特典(前年同月よりも節電した場合)> 特典3 各月、全員にほくリンクポイント10p 特典4 ほくリンクアプリ利用を条件に抽選で各月1,000名にほくリンクポ		応募締切 特典1 2022.12.31 特典2~4 2023.1.31
		ほくリンクアプリの新サービスで節電量に応じてポイント進呈・ 当社が前日に指定した日時に節電していただき、その節電量に応じて (1kWhにつき 5p程度)を進呈 2022年12月	じてほくリンクポイント 20日サービス開始	サービス開始 ~2023.3の 当社指定日
エコキュート 利用による 省エネ促進 支援	 	エコキュートで購入者にほくリンクポイント進呈 ・期間中にエコキュートをご購入されたお客さまに抽選(3名に1名) 10,000p を進呈(無線LAN非搭載の場合は5,000p	でほくリンクポイント	2022.12.1 ~2023.3 の申込分
	進	新サービス エコキュートリース「Easyキュート」の月額利用料・初期費用なしでエコキュートを利用できる新サービスにおいて、期間お客さま全員に月額利用料を3カ月間無料 (3カ月で2万円程度2022年12月	中に申し込まれた	2022.12.14 ~2023.3の 申込分
太陽光導 による節 促進支掠		「Easyソーラー」の月額利用料を3カ月間無料・ 期間中に「Easyソーラー」を申し込まれたお客さま全員に月額利用 (3カ月で2~3万円程度)	料を 3カ月間無料	2022.12.1 ~2023.3の 申込分